

[ジエトフェンカルブ・  
プロシミドン水和剤]

農林水産省登録 第17693号  
 性状: 類白色水和性粉末 45μm以下  
 毒性: 普通物  
 危険物: ー  
 有効年限: 5年  
 包装: 100g×100袋、500g×20袋

## スミブレンド®水和剤

有効成分: ジエトフェンカルブ ……12.5% プロシミドン ……37.5%  
 補助成分: ドデシル硫酸ナトリウム (PRTR・1種) ……2.2%



こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報がご覧いただけます。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

### [適用と使用方法]

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*
みかん	灰色かび病	2000倍	200~700ℓ	開花期 但し、30日前	本剤: 3回 ジエトフェンカルブ: 5回 プロシミドン: 3回
トマト				前日	本剤: 3回 ジエトフェンカルブ: 6回 プロシミドン: 3回
なす	菌核病	1500倍	150~300ℓ	7日前	本剤: 5回 ジエトフェンカルブ: 5回 プロシミドン: 6回 (常温煙霧は2回)
	灰色かび病	1500~2000倍			
きゅうり	褐斑病				
	菌核病				
レタス	灰色かび病	1000~2000倍	150~300ℓ	7日前	5回
たまねぎ					
いんげんまめ	菌核病	1500倍	150~300ℓ	21日前	本剤: 2回 ジエトフェンカルブ: 4回 プロシミドン: 2回
	すいか	つる枯病			
つるむらさき	菌核病	2000倍	150~400ℓ	14日前	2回
ふき	灰色かび病	1500倍			
キウイ フルーツ	貯蔵病害 (灰色かび病)	2000倍	200~700ℓ	前日	4回
みつば	灰色かび病		ー	21日前	1回
にがうり	斑点病		100~300ℓ	7日前	2回

使用方法: 散布



### 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきる。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさける。
- 定植直後又は幼苗、軟弱苗等には薬害を生じるおそれがあるので使用はさける。
- 高温時の散布は薬害を生じる場合があるので注意する。
- トマトは薬害を生じやすいので、下記の注意事項を厳守する。

○次の条件の場合は使用しない。

- ・生育が一時停止するような低温にさらされることがある栽培をしている場合。
- ・軟弱徒長気味な栽培となっている場合。
- ・微量要素欠乏又はその疑いのある場合。
- ・高温多湿条件の場合。

○使用する場合は次の注意を守る。

- ・有機リン剤との混用はさける。
- ・所定の薬量を厳守し、薬量過剰にならないようにする。
- ・くり返し使用する場合は散布間隔を十分（14日以上）あける。

- あぶらな科作物（特に、はくさい、だいこん、ストック）には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布する。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため本剤の過度の連用はさけ、作用性の異なる薬剤と組み合わせで輪番で使用する。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。



## 安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などのないよう注意する。
- 眼に入らないよう注意する。

眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。使用後は洗眼する。（刺激性）

- 粉末は皮ふに対して刺激性があるので散布液調製時には手袋を着用して薬剤が皮ふに付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。

12 頁記載の注意事項、(1)、(2)、(3)、(4)－C も合わせてお読み下さい。

## 〔品目特性〕

- ジカルボキシイミド系のプロシミドンとカーバメート系のジエトフェンカルブの混合剤です。
- 負相関交差耐性を利用した殺菌剤です。
- 予防効果、病斑伸展阻止効果があります。